

防災について考えよう!!!

特集第1弾【水害編】

何十年に1度と言われる豪雨災害が頻発する昨今。
水害から自分の身を守るためにどんな備えが必要でしょうか？
この機に一度考えてみましょう。

対策 その1 非常時の持ち出し荷物を事前に準備しよう！

緊急時に必要最小限の持ち物をすぐに取り出して避難ができるよう日頃よりリュックに入れておくなどの準備を行いましょう。

- ※男性が15kgで女性が10kgを目安とし、背負った際に両手を自由に動かせること事が重要です！
- ※水は1人当たり1日で3L必要

対策 その2 ハザードマップを確認しよう！

池田町より全戸配布されたハザードマップはお持ちですか？
自分の住む地域にはどのような水害のリスクがあり、どこの避難所へのルートを使って移動するのかなどを今一度確認してみましょう。

- ※避難所は1箇所にとららずに万一に備えて2箇所以上決めておくと安心です！



対策 その3 正しい避難を行いましょう

荒天時には細かく情報収集を行い、安全な方法を選んで避難を行います。
※視覚の悪い夜間や、浸水による歩行困難な時には外出は控えて垂直避難（自宅の2階以上）に切り換えるなど、無理は禁物です。



●避難指示から避難場所までの時間を次の計算方法で算出してみましょう！

避難時間を割り出してみよう！

- ①避難所までの片道は何分かかりますか？
【徒歩】 分 【車】 分
 - ②豪雨時の足元が悪い環境では片道に何分かかりますか？
【徒歩】 分 【車】 分
 - ③避難を決意してから家を出るまでに何分必要ですか？ 分
- ①と②の条件ごとに③を足して、避難場所までに必要な時間を算出してみましょう。

《通常時》 ①+③

【徒歩】 分 【車】 分

《荒天時》 ②+③

【徒歩】 分 【車】 分

▲避難カード

目指せパーフェクト

☆ 防災クイズ (水害編) ☆

洪水で避難をしようと思ったが道路には水があふれています。避難方法として正しい方法を選んでください。

1. 靴はどちらを履いて移動したほうが好ましいでしょうか？
(A) 長靴 (B) ビーチサンダル
2. 流れがある際に歩くことができる深さはどれくらいまででしょうか？
(A) 10cm (B) 20cm
3. 流れが無い状態で30cmの浸水であればどちらに避難することが好ましいでしょうか？
(A) 避難所 (B) 自宅の2階

答えは次ページ (P.24) をご覧ください。

災害時には自分の身は自分で守ることが鉄則です。いかに日頃より危機意識を持ち災害に備えて準備を行うかが大切となります。

今、自分に出来ることは何がありますか？
次号“特集第2弾【地震編】”に続きます。

* 災害備蓄タオルなどの寄付のお願い *

ご自宅で不要となっているタオルなどはごいませんか？
災害時に備えてタオル類(雑巾、手拭を含む)の備蓄を行いたいと考えています。
ご寄付いただきましたタオルは災害時等で有効に活用させていただきます。
回収方法につきましては、福祉センター玄関に専用の回収箱を設置させていただいておりますのでこちらへお願いします。ご協力をよろしくお願いいたします。



※衛生面に配慮しまして未使用の物に限らせていただきます。

※なお、広報等へのお名前の記載は控えさせていただきますことをご理解ください。